

## 令和元年度P R T Rデータの概要

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（以下「化管法」という。）に基づき、神奈川県内の事業者から届出があった令和元年度の化学物質の排出量・移動量及び国が推計した化学物質の排出量を取りまとめましたので、お知らせします。

- ※ この資料で記載している排出量等の集計値やその割合を表す数値については、表示単位未満を四捨五入により端数処理しています。なお、端数処理のため、合計欄の数値が各数値を合計した数値と異なる場合があります。
- ※ 排出量とは、事業所から環境中に排出された化学物質の量、移動量とは、廃棄物として処理するために事業所の外へ移動した化学物質の量をいいます。
- ※ ダイオキシン類の届出排出量及び移動量については、重量（kg）ではなく、毒性等量（mg-TEQ）で届出を求めているため、集計の合計値から除いています。

### 1 概要（別紙1参照）

神奈川県内の状況は次のとおりです。

- ① 届出事業所数は1,251事業所で、前年度より28事業所減少しました。
- ② 届出排出量・移動量は12,871トンで、前年度より10トン増加しました。
- ③ 届出排出量は4,791トンで、前年度より572トン減少しました。
- ④ 届出移動量は8,080トンで、前年度より582トン増加しました。
- ⑤ 国が推計した神奈川県の届出外排出量は8,412トンで、前年度より510トン減少しました。
- ⑥ 全排出量は13,203トンで、前年度より1,082トン減少しました。
- ⑦ 全排出量は全国の都道府県中第7位でした。

表1 排出量等の状況

（届出事業所数以外は、トン／年）

	神奈川県			全国		
	平成30年度	令和元年度	増減	平成30年度	令和元年度	増減
届出事業所数	1,279	1,251	△ 28	33,669	33,318	△ 351
届出排出量・移動量	12,861	12,871	10	391,342	384,054	△ 7,288
届出排出量	5,363	4,791	△ 572	148,188	140,127	△ 8,062
届出移動量	7,498	8,080	582	243,153	243,927	773
届出外排出量	8,922	8,412	△ 510	221,047	206,179	△ 14,868
全排出量	14,285	13,203	△ 1,082	369,236	346,306	△ 22,930

表2 全排出量順位上位10都道府県

（トン／年）

順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
都道府県名	愛知県	東京都	静岡県	千葉県	埼玉県	茨城県	神奈川県	大阪府	北海道	広島県
全排出量	21,329	15,096	14,579	14,543	14,349	13,708	13,203	13,007	12,617	12,491

## 2 届出排出量及び移動量の状況

### (1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

令和2年度には、令和元年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、1,251事業所から届出がありました。

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物質種類数	業種名	届出事業所数	届出物質種類数
食料品製造業	4	8	精密機械器具製造業	3	5
飲料・たばこ・飼料製造業	2	4	医療用機械器具・医療用品製造業	3	3
酒類製造業	1	1	その他の製造業	2	2
衣服・その他の繊維製品製造業	1	4	電気業	4	5
家具・装備品製造業	2	6	ガス業	2	5
パルプ・紙・紙加工品製造業	10	4	熱供給業	1	2
出版・印刷・同関連産業	11	12	下水道業	43	34
化学工業	128	187	鉄道業	2	2
医薬品製造業	9	13	倉庫業	8	27
農薬製造業	2	4	石油卸売業	15	8
石油製品・石炭製品製造業	24	44	燃料小売業	544	8
プラスチック製品製造業	27	26	洗濯業	9	4
ゴム製品製造業	10	38	自動車整備業	15	7
窯業・土石製品製造業	16	23	商品検査業	1	2
鉄鋼業	10	33	計量証明業	3	2
非鉄金属製造業	20	30	一般廃棄物処理業（ごみ処分業に限る。）	46	34
金属製品製造業	66	31	産業廃棄物処分業	13	34
一般機械器具製造業	36	28	特別管理産業廃棄物処分業	1	31
電気機械器具製造業	47	33	医療業	3	2
電子応用装置製造業	1	1	高等教育機関	9	7
電気計測機器製造業	1	1	自然科学研究所	26	14
輸送用機械器具製造業	58	36	合計	1,251	220※
鉄道車両・同部分品製造業	4	8	※同一物質を複数の業種に計上した場合については、一物質として計上しています。		
船舶製造・修理業、船用機関製造業	8	14			

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数
横浜市	366	逗子市	2	綾瀬市	26	開成町	5
川崎市	177	三浦市	9	葉山町	6	箱根町	8
相模原市	100	秦野市	41	寒川町	21	真鶴町	0
横須賀市	46	厚木市	57	大磯町	4	湯河原町	3
平塚市	74	大和市	35	二宮町	2	愛川町	22
鎌倉市	18	伊勢原市	27	中井町	4	清川村	1
藤沢市	59	海老名市	25	大井町	8	合計	1,251
小田原市	41	座間市	20	松田町	0		
茅ヶ崎市	24	南足柄市	15	山北町	5		

## (2) 届出排出量・移動量の集計結果

### ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった総届出排出量・移動量は全県で 12,871 トンであり、その内訳は、総届出排出量 4,791 トン、総届出移動量 8,080 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 4,505 トン、公共用水域への排出 286 トン、土壌への排出及び事業所内での埋立処分はありませんでした。

また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 8,055 トン、下水道への移動 25 トンでした。

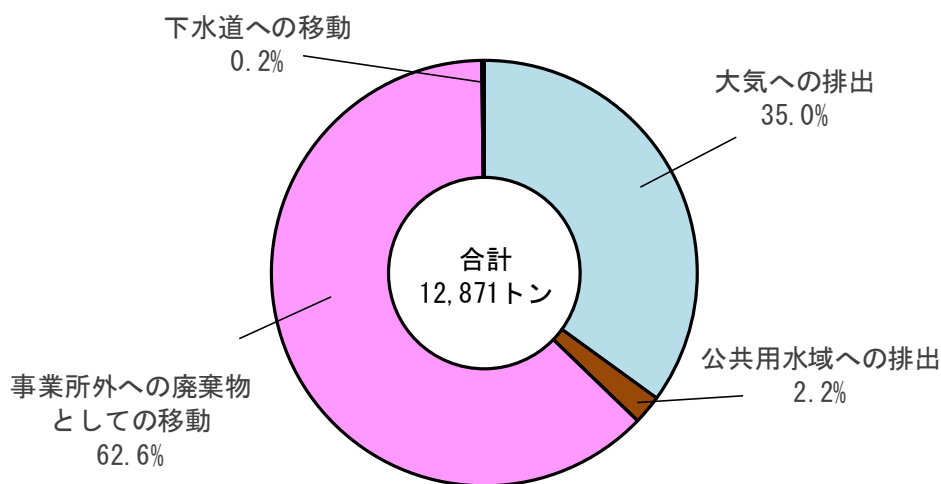


図1 総届出排出量・移動量

### イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の上位 10 物質の合計量は 9,716 トンで、総届出排出量・移動量 12,871 トンの 75.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

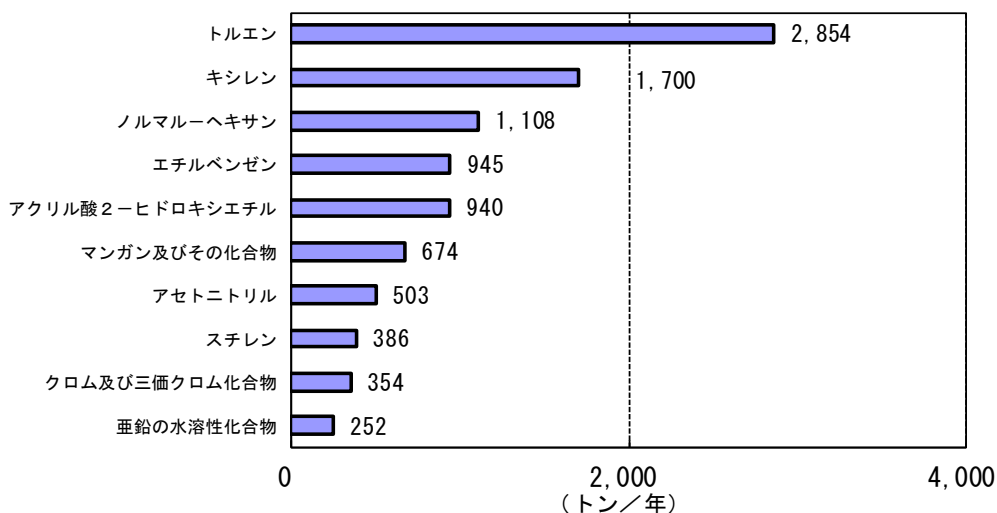


図2 届出排出量・移動量上位 10 物質

### ウ 届出排出量の状況

届出排出量の上位 10 物質の合計量は 4,341 トンで、総届出排出量 4,791 トンの 90.6%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

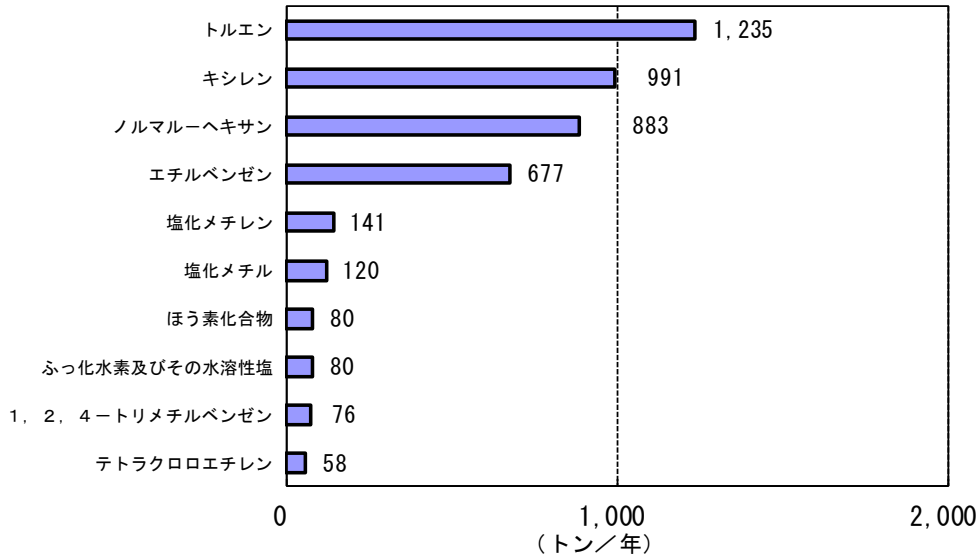


図 3 届出排出量上位 10 物質

### エ 届出移動量の状況

届出移動量の上位 10 物質の合計量は 5,826 トンで、総届出移動量 8,080 トンの 72.1%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

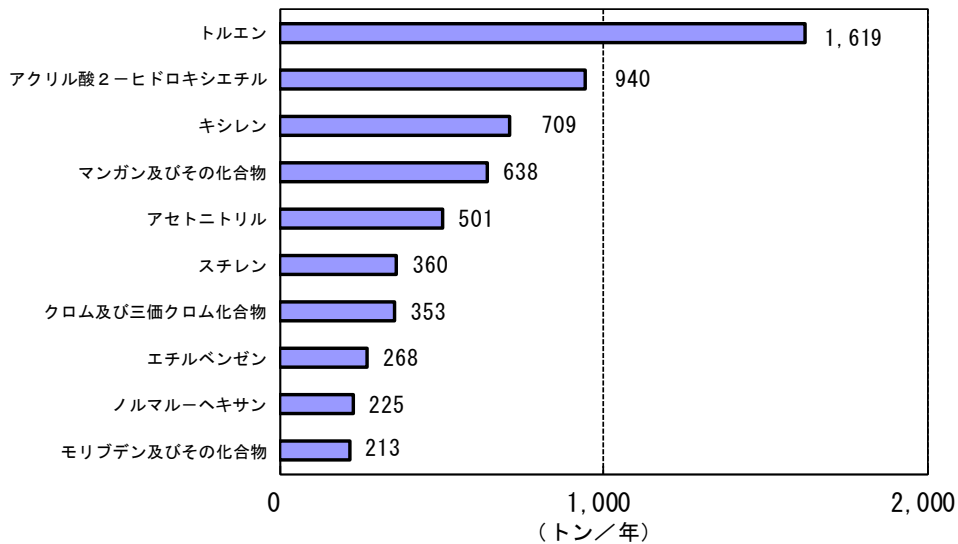


図 4 届出移動量上位 10 物質

## オ 届出排出量の排出先ごとの状況

### (ア) 大気への排出状況

大気への排出量の上位 10 物質の合計量は 4,260 トンで、大気への排出量全体 4,505 トンの 94.6 %に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

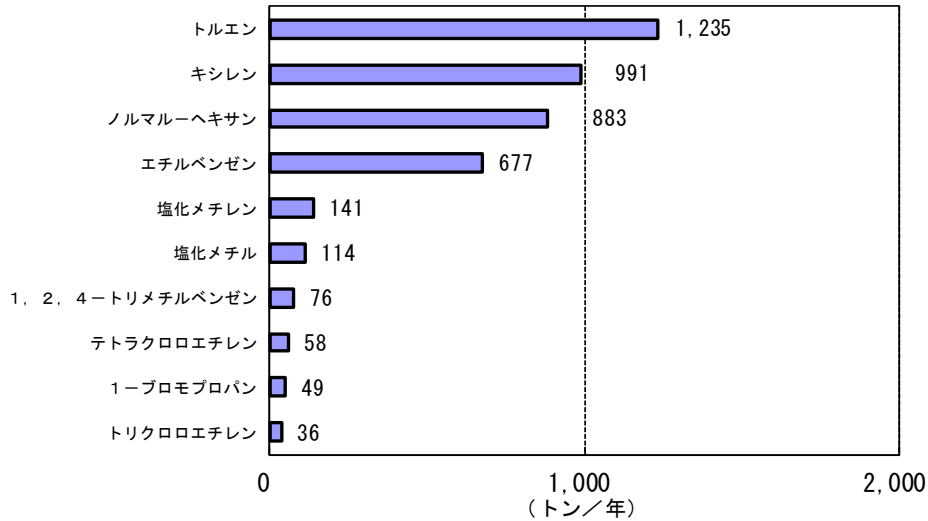


図5 大気への排出量上位 10 物質

### (イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の上位 10 物質の合計量は 277 トンで、公共用水域への排出量全体 286 トンの 96.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

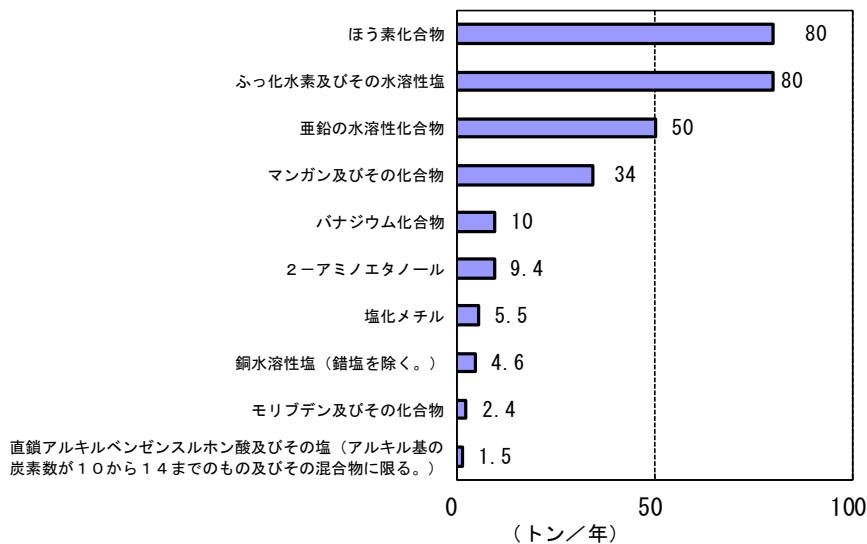


図6 公共用水域への排出量上位 10 物質

### (ウ) 土壌への排出状況

土壌への排出を行ったという届出はありませんでした。

(イ) 事業所における埋立処分の状況

事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の上位 10 物質の合計量は 5,821 トンで、廃棄物としての移動量全体 8,055 トンの 72.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

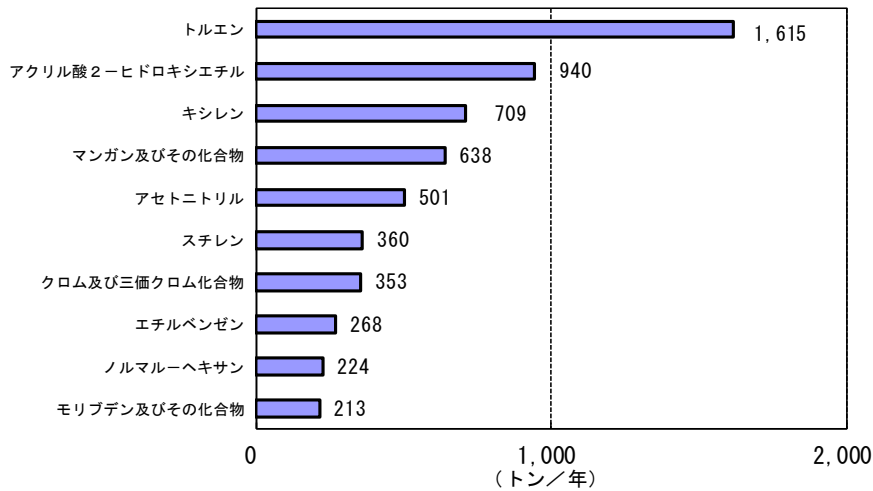


図7 廃棄物としての移動量上位10物質

(イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の上位 10 物質の合計量 22 トンで、下水道への移動量全体 25 トンの 89.2%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

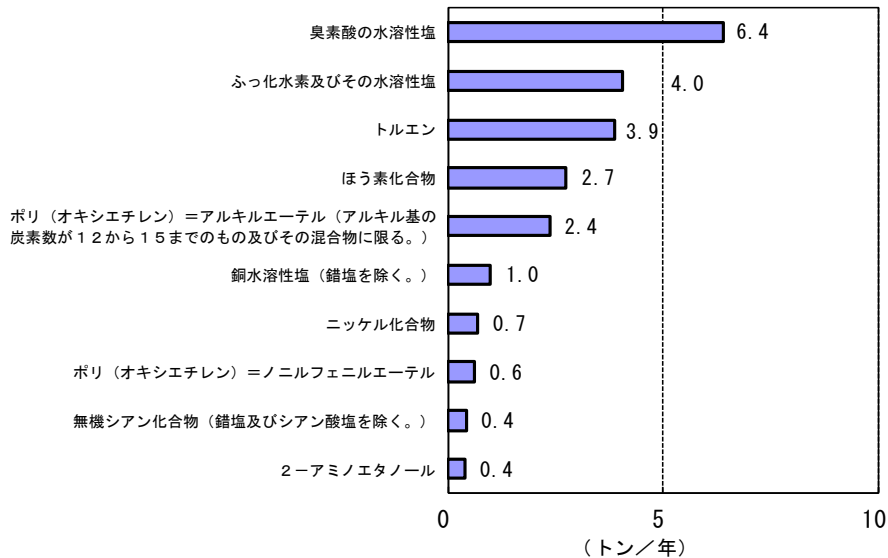


図8 下水道への移動量上位10物質

## キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

### (7) 届出排出量・移動量

届出排出量・移動量の上位 10 業種の合計量は 11,242 トンで、総届出排出量・移動量 12,871 トンの 87.3%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

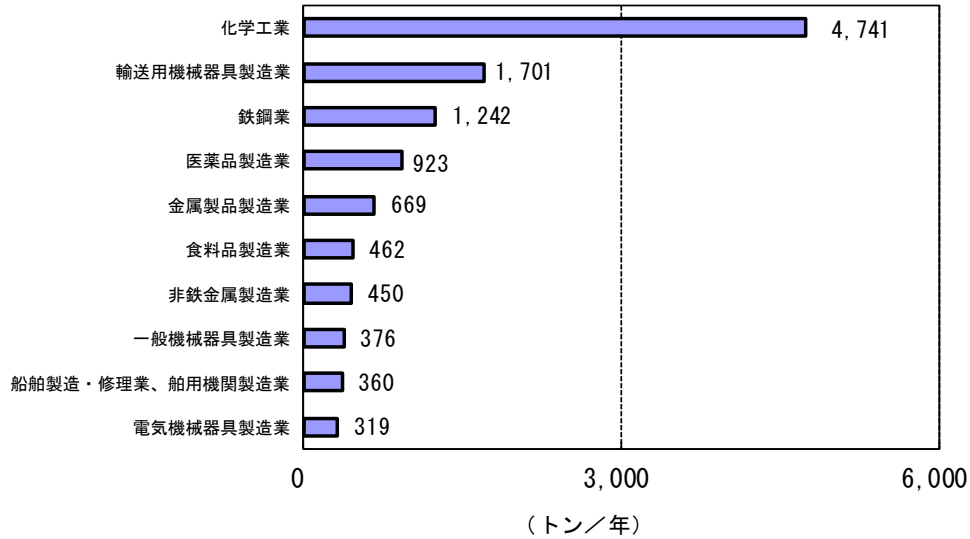


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

### (イ) 届出排出量

届出排出量の上位 10 業種の合計量は 4,252 トンで、総届出排出量 4,791 トンの 88.8%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

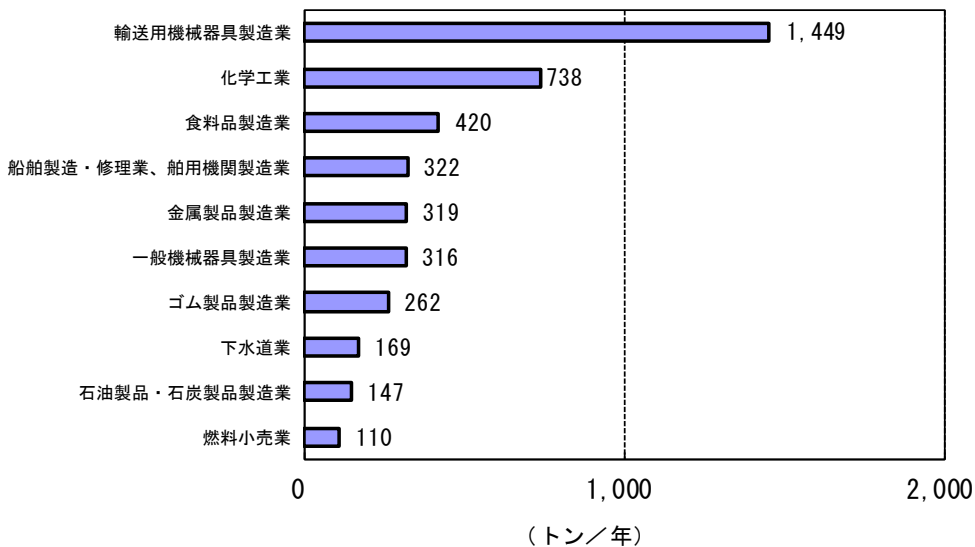


図 10 届出排出量上位 10 業種

#### (ウ) 届出移動量

届出移動量の上位 10 業種の合計量は 7,637 トンで、総届出移動量 8,080 トンの 94.5%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

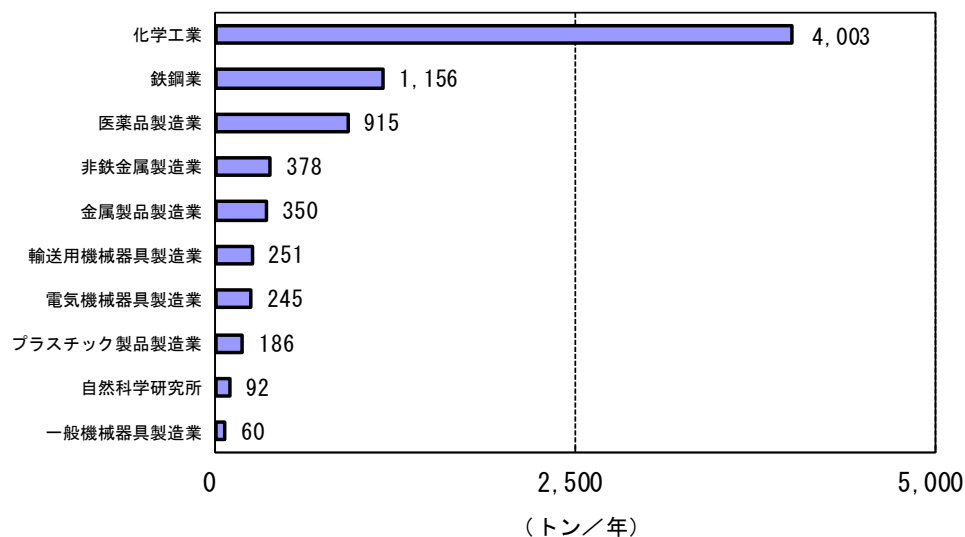


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

#### ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 15 物質のうち、本県では次のとおり 12 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
石綿	0	0	0	0	0	6,900	0	6,900	6,900
エチレンオキド	5,208	0	0	0	5,208	210	0	210	5,418
カドミウム及びその化合物	0	4	0	0	4	21	0	21	25
六価クロム化合物	0	363	0	0	363	9,703	84	9,787	10,150
塩化ビニル	8,800	2	0	0	8,802	0	0	0	8,802
鉛化合物	32	299	0	0	330	43,166	0	43,166	43,497
ニッケル化合物	242	1,192	0	0	1,434	76,554	688	77,242	78,676
砒素及びその無機化合物	6	244	0	0	250	640	1	641	891
1,3-ブタジエン	15,244	410	0	0	15,654	494	0	494	16,148
2-ブロモプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	32,701	220	0	0	32,921	340	0	340	33,261
ホルムアルデヒド	8,192	471	0	0	8,663	41,873	148	42,021	50,684
合計	70,425	3,205	0	0	73,629	179,901	921	180,822	254,452
ダイオキシン類	2,387	33	0	0	2,421	72,391	0	72,391	74,812

※ダイオキシン類の届出排出量・移動量の単位は、重量 (kg) ではなく、毒性等量 (mg-TEQ) のため、集計の合計値から除いています。



### 3 届出外排出量の状況（別紙4参照）

#### (1) 全物質の届出外排出量

国が推計を行った令和元年度の県内の届出外排出量の合計は8,412トンであり、その内訳は、対象業種からの排出量2,130トン、非対象業種からの排出量2,779トン、家庭からの排出量1,226トン、移動体からの排出量2,277トンでした。

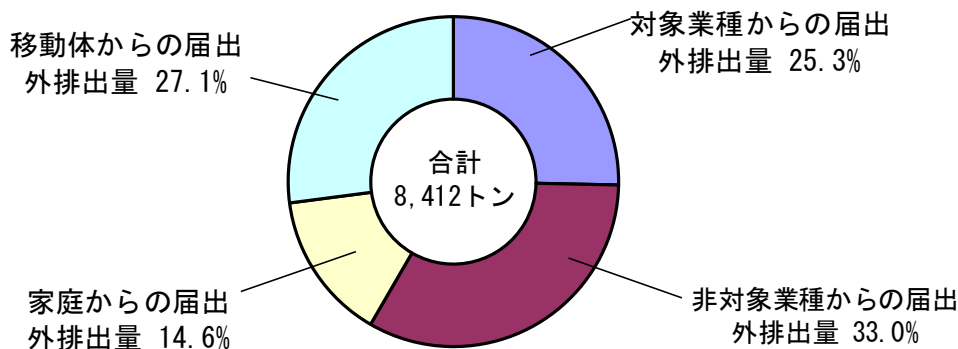


図12 届出外排出量

#### (2) 届出外排出量の状況

届出外排出量の上位10物質の合計量は6,597トンで、届出外排出量全体8,412トンの78.4%に当たります。

上位10物質は次のとおりです。

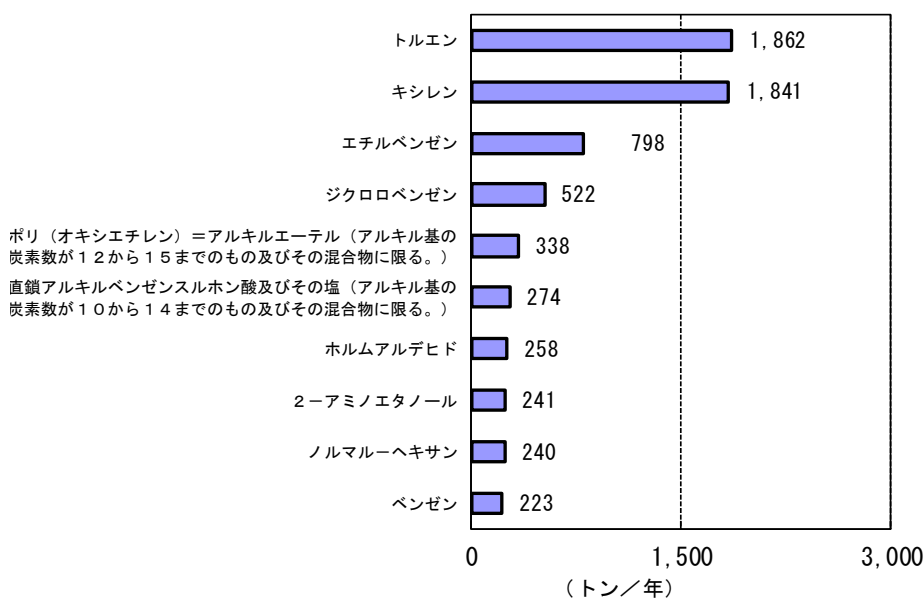


図13 届出外排出量上位10物質

### (3) 対象業種からの届出外排出量の状況

対象業種からの届出外排出量の上位 10 物質の合計量は 1,653 トンで、対象業種からの届出外排出量全体 2,130 トンの 77.6%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

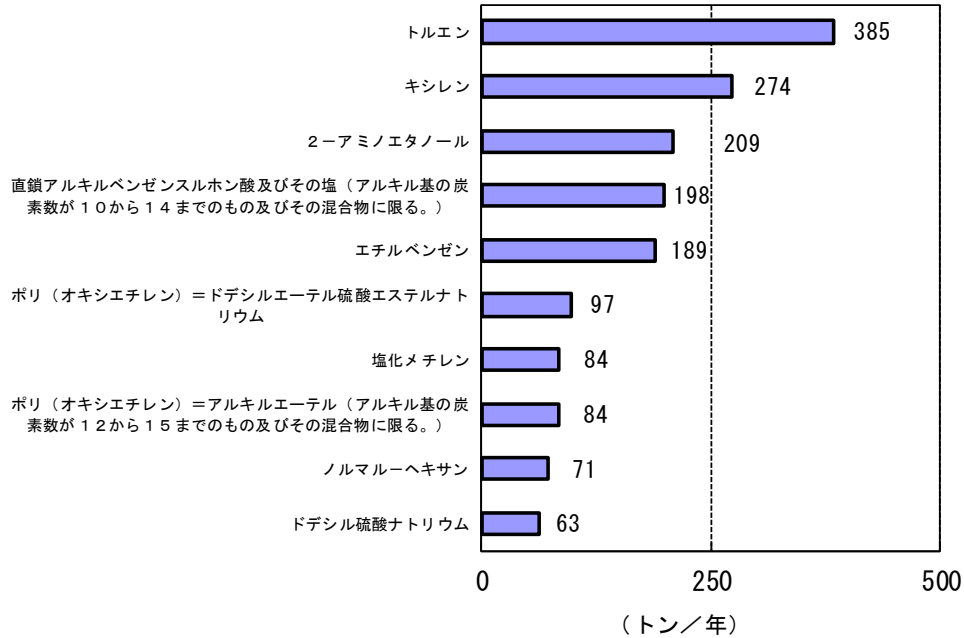


図 1 4 対象業種からの届出外排出量上位 10 物質

### (4) 非対象業種からの排出量 (届出外) の状況

非対象業種からの排出量の上位 10 物質の合計量は 2,650 トンで、非対象業種からの排出量全体 2,779 トンの 95.4%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

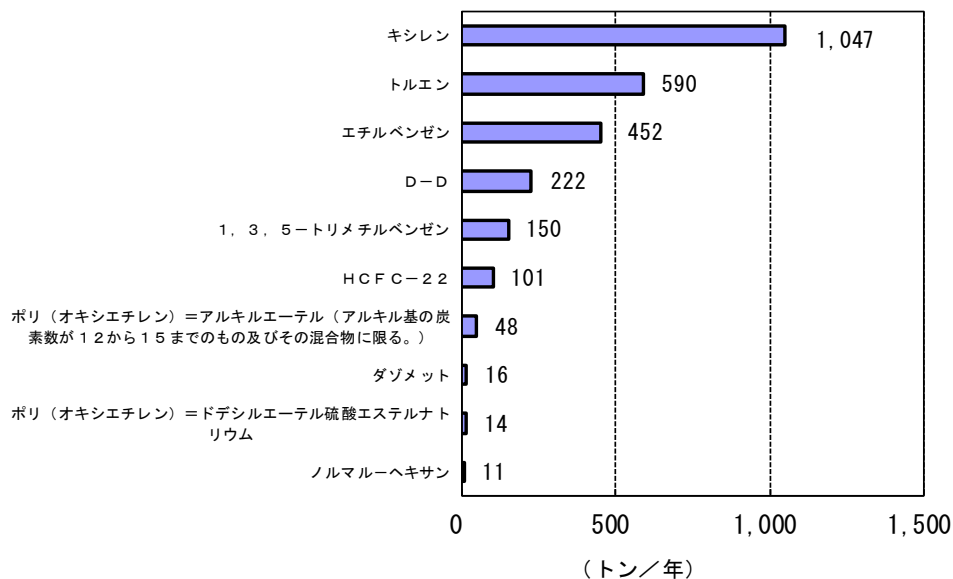


図 1 5 非対象業種からの届出外排出量上位 10 物質

(5) 家庭からの排出量（届出外）の状況

家庭からの排出量の上位 10 物質の合計量は 1,070 トンで、家庭からの排出量全体 1,226 トンの 87.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

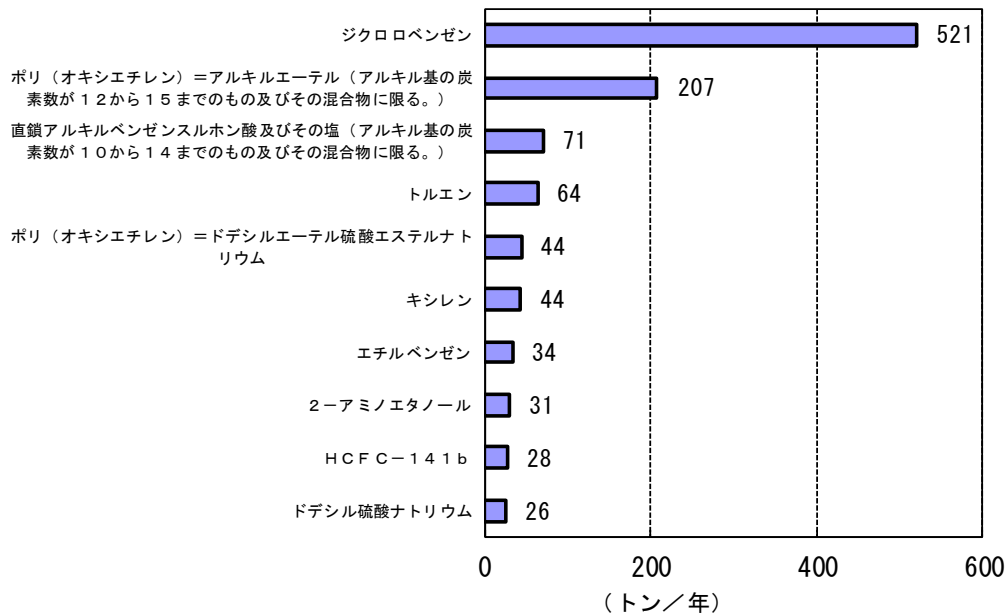


図 16 家庭からの届出外排出量上位 10 物質

(6) 移動体からの排出量（届出外）の状況

移動体からの排出量の上位 10 物質の合計量は 2,216 トンで、移動体からの排出量全体 2,277 トンの 97.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

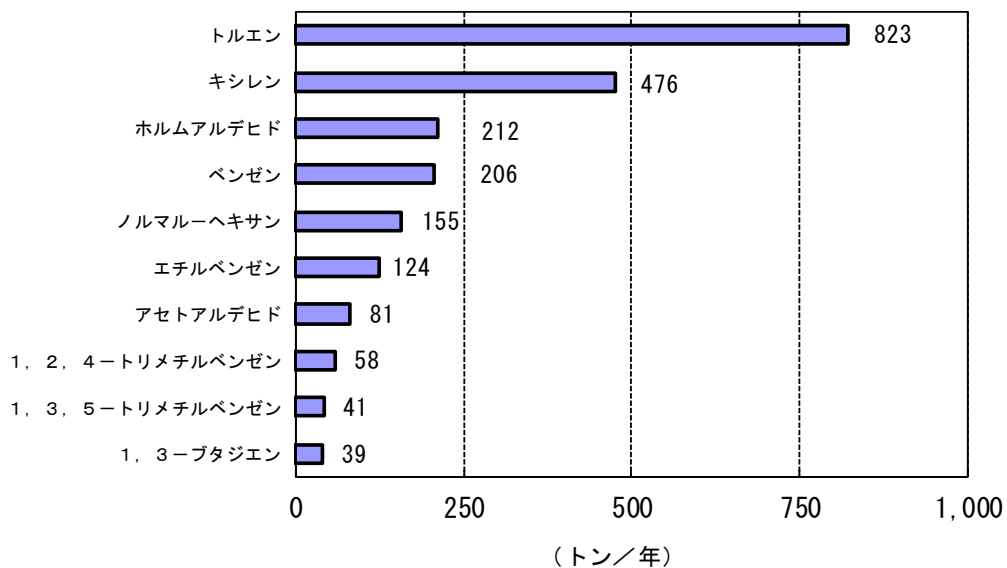


図 17 移動体からの届出外排出量上位 10 物質

また、移動体の種類別排出量は次のとおりです。

表 6 移動体の種類別排出量

(トン/年)						
自動車	二輪車	特殊自動車	船舶	鉄道車両	航空機	合計
1,918	84	100	175	0	0	2,277

#### (7) 届出排出量と届出外排出量の合計の状況

届出排出量と届出外排出量の合計の上位 10 物質の合計量は 10,436 トンで、全排出量 13,203 トンの 79.0%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

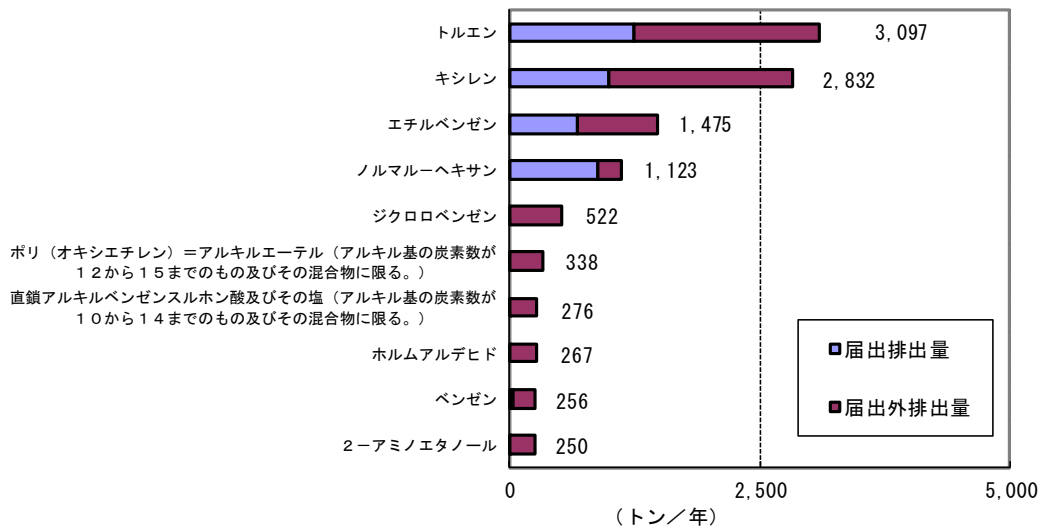


図 18 全排出量上位 10 物質

#### 4 届出排出量及び移動量の推移

事業者から届出のあった排出量・移動量の推移については次のとおりです。

表 7 届出排出量・移動量の推移

		(トン/年)										
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
届出排出量	大気への排出	6,078	7,378	7,136	5,808	5,493	5,255	5,268	5,190	5,107	5,038	4,505
	公共用水域への排出	302	325	327	311	280	288	284	267	272	325	286
	土壌への排出	0.002	0.004	0.001	0	0	0.001	0	0	0	0	0
	事業所内での埋立処分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,379	7,704	7,464	6,118	5,773	5,542	5,552	5,457	5,379	5,363	4,791
届出移動量	事業所外への廃棄物としての移動	9,787	8,168	11,166	11,036	8,685	6,756	8,142	8,387	7,000	7,455	8,055
	下水道への移動	72	69	91	76	91	66	180	173	54	44	25
	小計	9,860	8,237	11,258	11,112	8,775	6,821	8,322	8,559	7,054	7,498	8,080
合計		16,239	15,941	18,721	17,230	14,548	12,364	13,874	14,016	12,433	12,861	12,871